

留学生の未来を応援！就職体験会を開催しました

11月29日（金）、国際センター主催の「留学生就職体験会」が学内のグローバルラウンジで開催されました。本イベントでは、元留学生や教員が登壇し、日本での就職活動の経験やキャリア形成の秘訣を共有しました。約25名の留学生が参加し、活発な議論と質問が飛び交う充実した時間となりました。



リアルな経験談：李偉さん（ジーベック国際部部長）のメッセージ

イベントのハイライトの一つは、元留学生（年国際経済学科卒）の李さんによる講演です。李さんは自身の就職活動での失敗例や現在の会社でどのようにキャリアを積み上げてきたかを率直に語りました。また、外国人として日本企業で働く際の具体的なヒントを惜しみなく共有。中では「言語や文化の壁をどう乗り越えたか」というテーマでは、留学生ならではの視点が共有され、大きな共感を呼びました。



就職活動の心得：王紅さん（京泉工業技術統括本部）の熱意あふれるトーク

続いて登壇した王さん（心理学科卒）は、就職活動での心得や効果的なコミュニケーションの取り方を紹介。さらに、自らの経験をもとに「熱く」「明るく」「謙虚な姿勢」がどれほど重要かを熱演で伝えました。その情熱的なスピーチに、会場の雰囲気は一層盛り上がりを見せました。





地域企業の魅力を語る：張楓先生（経済学部税務会計学科教授）の解説

張楓先生は、備後地域の企業の特徴と可能性について詳しく紹介しました。備後地域は、繊維、鉄鋼、機械など多重の産業集積を誇り、総生産量は岡山県全体や島根県を大きく上回る規模を持つことが強調されました。張先生は「備後地域には将来性のある企業が多数存在する」と述べ、留学生にとっても大きなチャンスがあることを伝えました。同時に、企業側には国際化・多様化が求められていることも指摘しました。



参加者の声

参加した留学生たちは「具体的な事例を聞くことで、自分の課題が明確になった」「備後地域の企業の魅力を知る良い機会になった」「ベトナム人先輩の体験も聞きたい」など感想を述べ、次回のイベントへの期待も寄せられました。





今回の体験会で共有された知見から、以下のような重要なポイントがあるのではないかと思います。

- **留学生に求められる能力：**

日本語能力だけでなく、Word や Excel といった文章処理能力や英語能力も。特に英語力はグローバルな環境での強みとなります。

- **仕事への姿勢：**

日本人とのやり取りでは、相手の立場を理解し、異なる考え方を尊重する姿勢が重要です。うまくいかない時こそ、ネガティブに捉えると何も始まりません。物事を前向きに考え、自分のキャリアビジョンに向けて努力を続けることが大切です。

他に日々間違った点をメモし、次に気をつけることで改善を図ることや、感謝の気持ちを忘れず、周囲との良好な関係を築くことなど、参加者がいろいろなヒントとモチベーションを得ました。何より元留学生が日本語を武器に仕事をこなし、自分の個性を活かして活躍する姿そのものは、後輩たちにとって大きな励みになったに違いありません。国際センターは、引き続き留学生の就職活動を支援し、日本でのキャリア形成をサポートしていきます。